

資料に親しむ会 令和7年度第4回

「奥丹後の交通革命と峰山」

京都府立京都学・歴彩館職員が「奥丹後の交通革命と峰山」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和7年11月19日（水）午後3時15分～4時15分

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 65名

■ 内 容 京都府行政文書や地図を用いて、鉄道の開通と自動車交通の発展が、峰山町にどのような変化をもたらしたのかについて取り上げた。
町域拡大や駅道新設をめぐる地域対立、縮緬産業との結びつきについて紹介した。
さらに、従来から縮緬産業の重要な拠点であった峰山が、震災復興を通じて丹後縮緬ネットワークの中心として再編される過程についても紹介した。

■ 参加いただいた方々のご意見 （参加者アンケートより）

- ・ 峰山町をめぐる都市開発の経緯についての研究発表を聴くことができた。現代にもつながるものを感じた。
- ・ 丹後地域の交通の歴史について興味深い調査内容であった。説明・資料もわかりやすかった。
- ・ 絵図・地図など活用した、とてもわかりやすい内容でした。

（講座の様子）

